

第8回キャンパスベンチャー グランプリ東京

大賞

ビジネス部門



早稲田大学 吉藤 健太郎

「孤独感」というストレスを解決する、
福祉用コミュニケーションデバイス

遠隔操作で空間を共有

入院・療養中に外出できず、孤独感を抱えた経験をもとに、自分の分身のように遠隔操作できるコミュニケーション支援デバイス「OriHime」を開発した。社会に貢献したいという思いから、OriHimeを人と人を結ぶ福祉機器として提供する。

知能を加速させる可能性もある。同時に、入院・療養中の人はストレスが回復の妨げになる。OriHimeはカメラ、マイク、や老人ホームなどで試験的に

同じ空間を共有できる。他者かかない人でも企業や社会に参加できる仕組みを提供していく。

人工知能や高額のセンサーを必要としないので、癒やし口ボツよりも大幅に価格を下げて提供できる。現段階では、長期にわたる療養者や医療施設には10万円で販売し、月額3000円での貸与を想定している。

きょう表彰式

大賞に吉藤さん(早大)

「第8回キャンパスベンチャーグランプリ東京」(略称CVG東京、愛称キャン・プラン)の表彰式がきょう、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行われる。CVGは学生の優れたプランを表彰する。CVG東京大賞(グランプリ)は早稲田大学の吉藤健太郎さんの「『孤独感』というストレスを解決する、福祉用コミュニケーションデバイス」に決まった。大賞以下、関東経済産業局長賞、りそな銀行賞など11賞11件の表彰が行われる。大賞受賞者には賞状と賞金100万円、ほかの受賞者にも賞状と賞金が贈られる。

知恵と創造性が産業の活性化、技術の進歩を実現する時代となった。学生の新鮮な発想、ユニークなアイデア、独創的な技術が産業界のニーズに応えている。CVG東京は学生のベンチャービジネスのアイデア・事業部門は技術的な要素を背景を活用したプラン、地方の活性化を促すビジネスモデルだ。



ごあいさつ

CVG東京実行委員長

岡村 正

昨年、わが国は未曾有の大災害に見舞われ、被災地の環境は徐々に改善されつつありますが、復興は緒に就いたばかりです。一方で超円高

やデフレの長期化、エネルギー問題などにより事業環境は厳しさを増し、

次代を担う人づくり

世界経済も不透明感が漂うなど、日本は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありません。日本が今後、持続的な成長を果たすためには「東日本大震災からの

でスピーディーな実行など、政府による果敢な対応が必要であることは言うまでもありません。が、とりわけ、創業の拡大により雇用創出や新たな需要喚起が継続して起きるよう、新成長戦略の

米マイクロソフトのビル・ゲイツ会長は以前「競争相手は？」と聞かれ、「どこかのガレージで何かを作っている若者だろ」と答えていた。個々人がそれぞれ自発的に面白さややりがい追求することで、新しい市場、新しい価値を創造する可能性が広がります。

創造立国の確立という面からも、非常に重要な役割を担うものと認識しております。今回、CVG東京は38校・181件のプランが寄せられ、各地区大会の合計では初めて

CVG東京 実行委員会

(敬称略)

委員長 岡村 正(東京商工会議所会頭)
副委員長 清成 忠男(日本ベンチャー学会特別顧問、法政大学学事顧問)
委員 照井 恵光(経済産業省関東経済産業局長)
大竹 美喜(国際科学振興財団会長、アフラック最高顧問)
中村 利雄(東京商工会議所専務理事)
岩田 直樹(りそな銀行社長)
一柳 良雄(一柳アソシエイツ社長、日本ベンチャー学会理事)
井水 治博(日刊工業新聞社社長、東京産業人クラブ理事長)

【主催】CVG東京実行委員会【共催】りそな銀行、日刊工業新聞社
【協賛】アステラス製薬、AGS、ODKソリューションズ、オムロン、スローガン、TDK、東芝、DREAM GATE プロジェクトニッポン、日本MITエントナープライズ・フォーラム、日本コンピュータ・ダイナミクス、日本マイクロソフト、日立製作所、ファンケル

大賞を受賞して

療養中でも人の輪に参加できる喜びを

今回このような賞をいただく、大変うれしく思っております。

日本は現在、人口の約25%が65歳以上という超高齢化社会を迎えており、独居老人の数も今年で1000万人に達するといわれています。また、私自身がそうであったように、入院や自宅療養を余儀なくされ、長期にわたる学校へ通えずにいる子供も、全国で7万人近くいると推定されています。体が健康でない時の「寂しさ」は大きな不安、ストレスとなる。響や認知症の原因になる、ともいわれています。

病気がけがで病院や自宅から動けず、家族や仲のよい友人と会えない人

世界トップレベルの発電力

公称最大出力	最大セル変換効率
240W	22.6%

※1 量産レベル(住宅用太陽光発電システム)における当社調べ(2012年1月現在) / ※2 JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値

太陽のチカラで、次の暮らしへ。

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。

ecoスタイル

東芝住宅用太陽光発電システム

世界トップレベルの発電力 バックコンタクト方式の単結晶パネル コンパクト&軽量